

高耐久土砂部用アンカー

GTアンカー



高耐力士砂部用アンカー

G・T(グランド・テンション)アンカーは、従来の土砂部用アンカーより施工性に優れ、いろいろな用途に使用されるよう開発された高耐力士砂部用アンカーです。

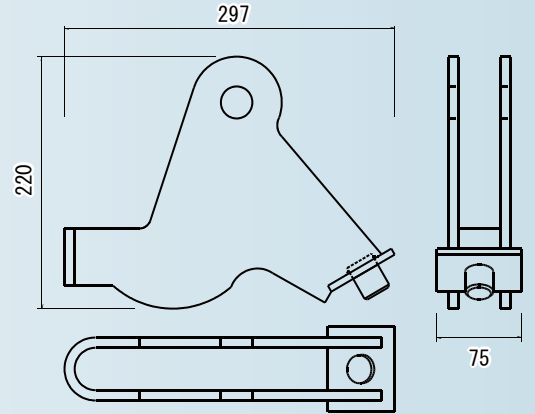
- 特徴
- ・ ワイヤロープの切断強度まで安定した耐力を保証します。
 - ・ 施工は簡単、土質、設置場所を選びません。
 - ・ セメントミルク注入により地山に密着します。
 - ・ 地山を掘らなくても土圧板設置が可能。

- 用途
- ・ 落石防護網工
 - ・ ワイヤネット工
 - ・ ロープ掛工
 - ・ 他工法

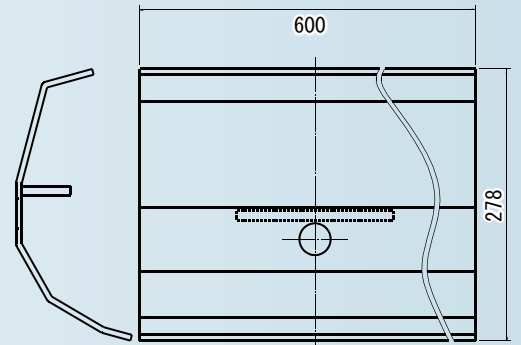


GTアンカーの形状

ベクトル板



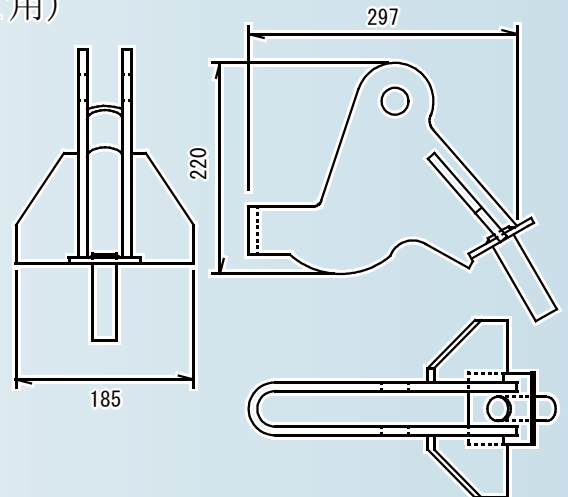
R型鋼板 (GT土圧抵抗板)



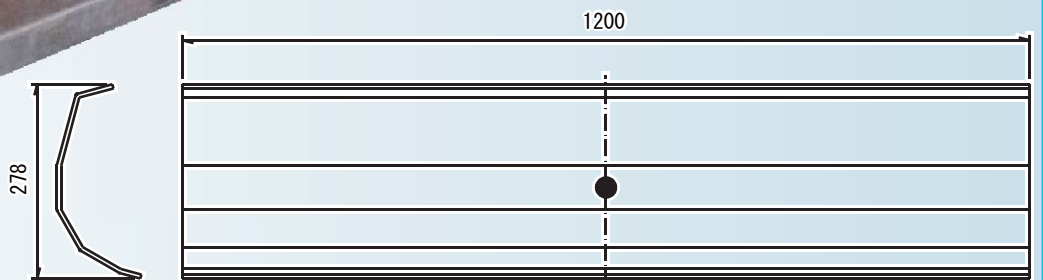
SGTアンカーの形状



ベクトル板 (SGT用)



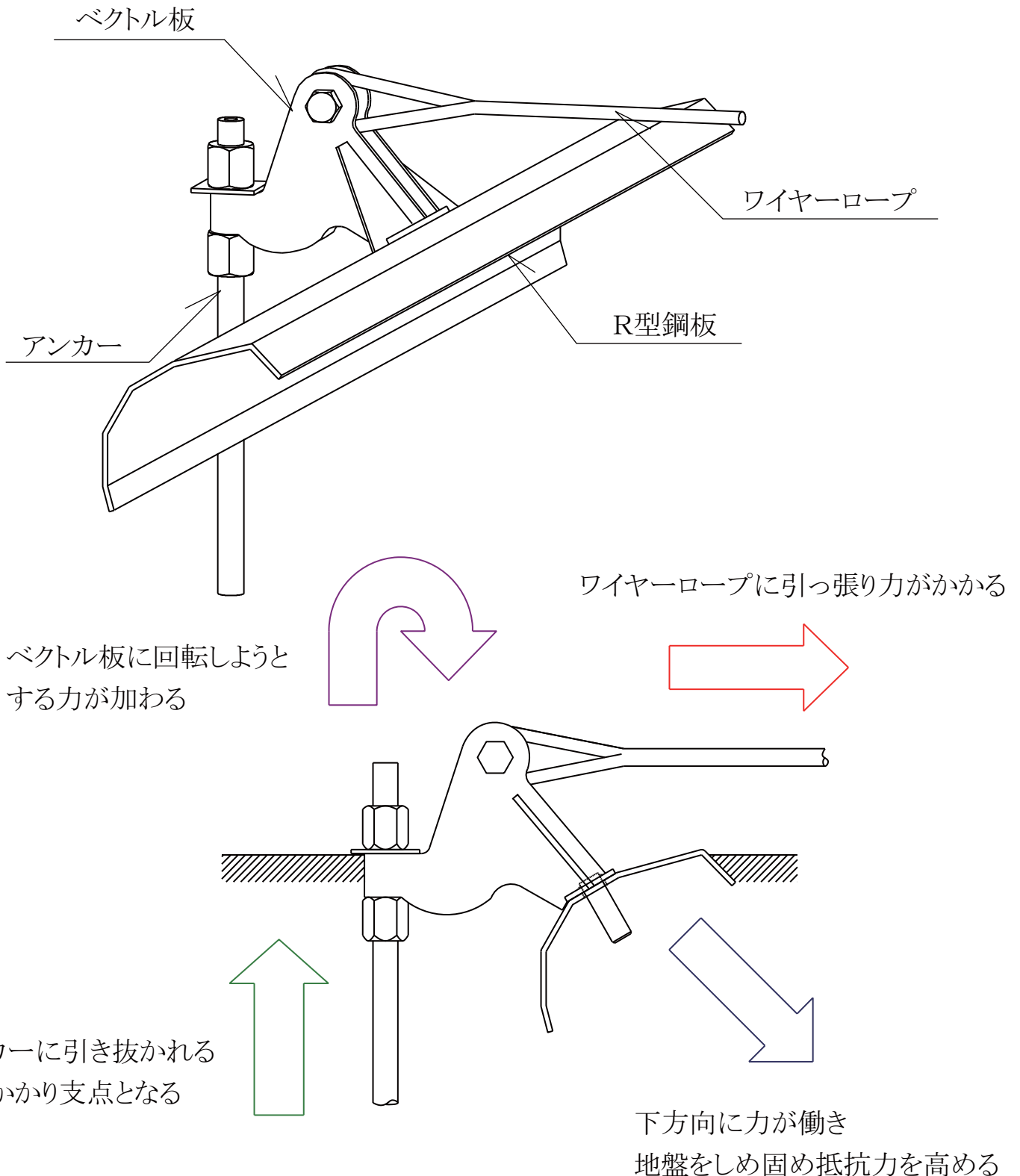
R型鋼板 (SGT土圧抵抗板)



GTアンカーの構造

従来の土圧抵抗板では、ワイヤーに横方向に引っ張り力が作用するとその方向に対して抵抗力を働かせる構造であったが、GTアンカーでは横方向に引っ張り力が作用するとアンカーを支点にし土圧板が下方方向に押さえつけられる構造になっている。

そのため地盤をしめ固め、引っ張り方向に対しての抵抗力がより一層向上している。



GTアンカー設置

1. マーキングしたアンカー位置に削孔機をセットし規定長の削孔を行う。
2. 削孔後、引張方向側の抵抗がかかる位置を整地し、土圧板を地山に設置する。



3. 注入したセメントミルクがアンカー体中空を通り先端より流出し、孔底より充填され孔口からオーバーフローしたらアンカー体の注入完了。



4. 土圧板と地山が密着するよう隙間をセメントミルクで充填し、土圧板を固定するとGTアンカーの設置完了。

※(SGTアンカーも同様に設置します)

SGTアンカー耐力確認試験

施工する落石防止網工・ロープ掛工に用いるアンカーが、安定計算上満足した耐力を得られているかどうかを確認する。



立木などにチェーンブロックを取り付け、設置したアンカーをロープの張力方向と同方向（せん断方向）に荷重を与える。

変位量を確認する為、土圧抵抗板に対し水平方向に水系をはる。



少しずつ荷重を上げていき、その都度アンカーと地盤の開きを検測して、設計荷重まで変位量を確認する。

試験結果

(耐力は現地状況により異なります。原則として現地での耐力の確認を行う。)

荷重	(t)	0.0	1.4	2.9	4.0	5.1	6.2	7.0	8.1
計測値	(mm)	282	297	318	328	336	353	362	381
変位量	(mm)	0	15	36	46	54	71	80	99

今回の試験で引張荷重 約8tを掛け、GTアンカーに異常はみられず満足した結果がえられた。

落石防護網工でGTアンカー使用状況写真



ロープ掛工でGTアンカー使用状況写真



吊柵工でSGTアンカー使用状況写真



GTアンカー・SGTアンカー

株式会社 エース産業

〒868-0095

熊本県球磨郡相良村985-36

TEL 0966-22-4890

FAX 0966-22-1467